

特定非営利活動法人

日本雲南聯誼協会

【本部】〒141-0021 東京都品川区上大崎3-1-1 JR東急目黒ビル7F  
Tel. (03)5435-5977 Fax. (03)5435-5978  
Email: yunnan@jyfa.org  
URL: http://www.jyfa.org  
【雲南事務局】雲南省昆明市拓東45号世博大 2605室  
Tel. +86-871-3188468 Fax. +86-871-3188468  
編集・発行人 初鹿野惠蘭  
印刷協力 朝日経印刷 朝日経評論社



# 彩雲の南

Japan Yunnan Friendship Association

## 開校式ツアー特別号

発行日 2005年(平成17年)9月10日

会報

飛行機が成田空港に到着すると自然に拍手が湧き起こりました。今回の開校式ツアーは、忙しいスケジュールにもかかわらず、他の悪しく、一日一日を有意義に過ごせ、皆さんが一体となり団結力を強く感じることが出来ました。毎日夕食の時間には1人が代表としてその日の感想を述べていただいたことがとても印象的です。総勢35名という大団体となった開校式ツアー。その様子をどうぞご覧下さい。



広州空港で荷物を運ぶ皆さん。いよいよ中国国内にきました。



保山空港にて。無事保山に到着した一行、ホッと期待が高まります。

### 第6、7校目小学校開校式参列ツアー



怒江第一湾で全員リス族の衣装で記念撮影

#### 1 日目 8月7日(日) 成田-広州-昆明-保山

成田空港を出発する28名のツアー参加者の皆さん。混み合う中国広東省広州空港で団結式を行いました。名古屋・東京・大阪・北海道など日本各地からの参加者が自己紹介をし、これから一週間のツアーを楽しく充実したものになろうと心を共にしました。参加者の中には初めて雲南を訪れる方も多く、一同これから待ち受ける体験に気持ちが高まります。

昆明から、協会顧問曹さん、シンガポールから参加の張さんご夫妻、昆明で中国語を勉強している小出さんと中山さん、日本から雲南の玉溪に里帰り中の羅さん等7人が加わり、総勢35名のツアー参加者が揃いました。

夕食後保山のホテルの一室で明日、明後日の小学校訪問時に渡す贈り物の仕分けをしました。長旅の疲れも見せず作業にご協力くださる皆さん。一本ずつ集めていただいた鉛筆や文房具、日本風の小物、おもちやなどが集まりました。



#### 2 日目 8月8日(月) 保山-福貢、7校目開校式参列、4校目訪問

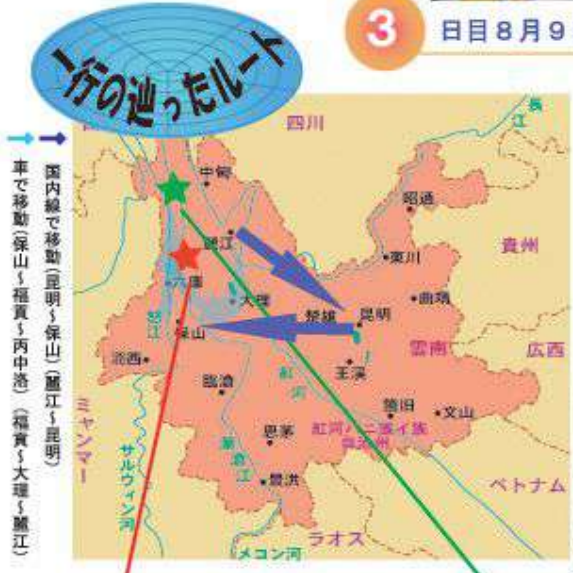
朝、一行は小型バス2台に乗って保山を出発。約4時間かけて145kmはなれた怒江州の州都六庫へ。そこから3時間ほどの福貢に到着しました。7校目の果科小学校に行くチームと、4校目の藤道小学校に行くチームに分かれ、7校目チームは地元政府の四輪駆動車数台に乗り、4校目チームはこれまでの小型バスで出発です。開校式と4校目訪問の詳細は会報17号をご覧ください。



左) 夜遅くまで集まった寄付の文房具を仕分けする。右) 昆明からの参加者の皆さんと、一日目の夕食。



7校目果科小学校への道のりは、怒江大峡谷をすぐ横に山肌ぎりぎりのぬかるみ道のドライブでした。途中、家の手伝いで木材を運ぶ児童の姿も見受けられました。



#### 3 日目 8月9日(火) 福貢-丙中-福貢、第6校目開校式

途中、地元政府からカラフルなリス族の上着を頂きました。また、体に縄で編んだものを回し太いワイヤーを伝って怒江をわたる、地元の人々の生活に根付いているリウスオ(溜索、竹索・鋼索とも)を体験しました。曹光顧問をはじめ、参加者の皆さんも続々と挑戦しました。この2日間は長時間の車移動、でこぼこの道、崖ぎりぎりの山道、朝早くから夜遅くまでのフルスケジュール。ご年配の方はじめ皆さんとても我慢強く頑張ってくださいました。非常感謝!

#### 怒江を横断するリウスオでリス族の生活体験!



北原さん、曹さんはじめツアー参加者ほとんどのみなさんがリス族のリウスオで川渡りにチャレンジしました。雨季で増水する怒江を、ロープ一本で渡るこのスリリングなリウスオもリス族の大切な生活手段。



険しい山道を行く



雲南省の食事 野菜、野草やキノコなどが中心。雲南省の特産である松茸も、おいしくいただきました。

第7校目  
**日中果科信心小学校**  
怒江リス族自治州福貢県  
児童数77名(ヌー族)



お揃いのリス族衣装は地元政府のはからい(福貢県)

第6校目  
**日中青那桶信心小学校**  
怒江リス族自治州貢山県丙中洛  
児童数65名(独龍・チベット・ヌー族)



青那桶小学校で。松村さん、ジュエスチャーを交えて子供達と交流しています。どんなお話をしたのでしょうか。

4 日目8月10日(水) 福貢-大理

昼食後に、怒江州政府のはからいでリス族のパフォーマンスが催されました。『勇敢なリス族』の伝統的出し物です。会場に用意された10メートルほどのはしごの一本一本の足場は刀で、36本、このはしごを勇敢な男が素手と裸足で上っていき、上で手を振り、また下りてくるのです。36本の刀は365日の一年間を、登って下りてくるのは一年間を何事もなく過ごすという願いを意味しています。また、真つ赤に燃える炭の上を歩く「炭渡り」は、男たちが裸足で熱い炭の上を足を地面にこすらせる様にして渡ってゆきます。目の前で繰り広げられたリス族伝統のパフォーマンスに、ツアーの皆さんも歓声を上げたり、写真を撮ったりしました。本来、このパフォーマンスはリス族の12月20日のお祭り、「開時節(カオシーゼエ、豊かた時のお祭り)」で行われるものです。



リス族男子の祭を鑑賞しました

5 日目8月11日(木) 大理(三塔寺)-麗江



本日の乾杯の音頭は高田さん・山内さん、お願いします!

6 日目8月12日(金)

麗江-昆明(懇親会)

麗江の玉泉公園では、公園内の東巴(トンパ)文化研究院を訪問しました。協会が協力して出版した『愛と友情のトンパ文字』制作の際にお世話になった趙院長や和品正先生にお会いして、トンパ文字に関するお話を聞きました。その後、一行はトンパ文字やナシ族の文化に精通している「東巴大師」を訪ね、思い思いのトンパ文字を描いてもらいました。午後、昆明に到着した一行は休息・懇親会の支度・着替えと慌しく会場へ。盛大に開催された協会5周年記念懇親会の模様は会報17号に掲載しています。



聞こえる 聞こえる...

田中さん、蛙の鳴き声が聞こえますか?三塔寺で、蛙石という面白い岩がありました。



トンパ大師に何を描いていただいたのでしょうか。金尾さん。



麗江トンパ文化研究院にて



いただきます!乾杯!

麗江での夕食。中国のしゃぶしゃぶ、火鍋(フオグオ)を堪能しました。



今日も一日お疲れ様!

励め上手の曹顧問がテーブルにやってくると席が一層盛り上がりました。全員で声を合わせて「ガンペー!(乾杯)」



麗江古城で散策。皆さん思い思いのお土産を買いました。宿泊した古城内のホテルは四合院造でした。



すっかり峰尾さんに慣れてしまった猿(玉泉公園)



皆さん写真撮影に夢中で(三塔寺)



神立さんと中川さん、浴衣がともお似合い。(懇親会)

7 日目8月13日(土) 昆明(石林、西山竜門石窟)

ツアーもいよいよ2日を残すのみとなりました。昆明では石林、西山の龍門石窟を観光しました。龍門には科挙の時代の学問の神様がいらっしゃるとされ、この龍門を通れば「登竜門」として縁起が良いのだそうです。



石林はこの季節、人林多くの観光客でにぎわう。

8 日目8月14日(日) 昆明-広州-成田

最終日、ツアーの中では恒例になっていた北原理事の「開東一本締め」で旅行の最後を景気良く締めくくりました。

今回のツアーでは、大きな病気や事故もなく、無事に帰ってこられたことがまずなにより良かったと思います。開校式と懇親会、そして観光と盛りだくさんのハードな8日間でしたが、ツアーに参加した皆さん、そしてツアーに関わった全ての皆さまのご苦労と勇気、温かい協力のお気持ちに心より感謝します。



青黒瀬小学校の近くには家畜の豚。

次回、早ければ今年の11月にも当協会支援の第8校目小学校が誕生します。今回のツアーに参加できなかった方も、ぜひ次の機会に初鹿野理事長と行く、雲南省開校式ツアーでお会い出来ることを願っております!



石月亮の前で全員で記念撮影

お疲れ様でした!そしてご協力ありがとうございました。

ツアー参加者(敬称略)

- 緒方博哉、松村慎一、宮下誠、萩原光廣、山内道廣、高田博光、山下信二、糸山敏和、神立めぐみ、中川美保、小澤文雄、近藤鋭一、中前幸恵、明石晃、田中徳次、谷平菊、北原茂実、野々山尚毅、北原祥、峰尾繪美、峰尾洋子、小池洋子、初鹿野仁、金尾健介、小出和夫、中山幸二、張忠慈、鄭廷、羅ケイ明、初鹿野忠馨、二見由紀、七田伶



乗り換える広州空港で休息、休息。